

IT21 の会 (平成 16 年 11 月) 第 82 回議事録

日 時：平成 16 年 11 月 2 日(火) 18 時 30 分～20 時 50 分

場 所：萱出第 2 ビル A / B 会議室

出席者：34 名 CPD ポイント 1.0

配布資料

- ・0411-1 IT21 の会 11 月例会案内
- ・0411-2 地震予測プロジェクトの経過報告
- ・0411-3 プロジェクト成功のためのチームビルディング
- ・0411-4 8 期補正予算
- ・0411-5 合宿WG連絡(2 月合宿の件)
- ・0411-6 HP 委員からの承認依頼事項
- ・0411-7 CPD 講座案内ほか

議事

1. はじめに

IT21 紹介資料のための写真撮影のお願い(吉川博晴氏)

初参加者の自己紹介(7 名)

2. PJ - JSN (プロジェクト地震予測) の経過報告(犬伏裕之氏)

現在、電通大大学院にて地震予知の理論面の研究を進めている。

震源活動が地表の温度上昇をもたらし、夜間気温で観測可能なレベルになる、という仮説に基づき震源地の夜間気温の上昇を観測して予知しようとしている。

今回の新潟中越地震から、仮説に従う予兆が出ていたかどうかを事後検証したところ多くの日本で 17-18 度のところ、震源のひとつである小出付近では、夜間気温が 23 度を示していた。ただし、気温上昇には気象的な要因もあり、統計的手法も重要である

11 / 22 地震予知のセミナーがある(別紙)

問)他にも夜間気温上昇の要因はあるか

答)気温情報は気象条件による

低気圧の通過や南風が吹くなどで気温が上昇する

奥尻島では気象要因なく気温上昇があったことが確認されており、これは予兆と考えられる

3. CPD 中央講座他の紹介(黒澤兵夫氏)

技術士フォーラム 2004 「最新 MOT 事情」

11 月度技術士 CPD 企業内技術士交流会との共催

1 2 月度技術士 C P D 最新の技術鑑定と課題について

参考

M O T テキスト : isbn4-8171-9123-6

「改訂 エンジニアリングマネジャー M / K バタビイ」

4 . 「プロジェクト成功のためのチームビルディング」 原田 奈美氏

最近、組織にまたがった臨時のプロジェクトによって仕事を行うことが多くなっているが、旧来のモチベーションの研究は、組織の中でのモチベーションの維持が目的であり、プロジェクト型ではまだ十分に研究が進んでいない。今回の発表は、ProMac とよばれる

Project Management 学会の国際学会（2年ごと）で、他2名と発表した内容である。先行研究で、松尾、井沢氏が約2000人を調査した結果からモチベーションに結びつく7つの要素（ドライバ）を提示したが、このモチベーションドライバに直接効果のある「具体的な行動」が定義されておらず、これを定義し実践的に実証してきました。企業が成功する3要素にはゴール：事業の成功、ケーパビリティ・ネットワーク：ゴールを達成する企業能力、リソース：能力を可能にする要素があり、リソースとしてはさらに「組織」「プロセス」などがある。

プロジェクトでは、リソースを構成する要素が「組織」から「ひと」となる。「ひと」がケーパビリティを発揮するエンジンとすると、エンジンを動かすガソリンが、「モチベーション」である。しかし、モチベーションはモノのように与えておくことができず、いったんモチベーションが下がると、再び引き上げることは大変困難なものである。

7つのモチドラ（松尾 伊沢）のモデルは、モチベーション上昇に関与する5個のドライバとモチベーションを下げる2個のドライバで構成されている。ただし、意外なことにはこのモデルの研究過程ではお金の話は、モチベーションに影響を与えないという結果からドライバに入っていない。これらモチドラの行動の具体化を行い検証する過程でいろいろと気づいた結果を「MEH」モデルとして発表した。

一部を紹介する

ほめる：年齢が高くなるにつれてほめるという行動ができない場合がある（難しい）

いきなり褒めることができないとして2つのステップで実現すると、褒め上手になれる。

共感してみる

ポジティブな形容詞を使って褒めてみる

*褒めるときは相手の人格・存在すべてを褒める

うまく叱る

傾聴 気持ちを汲んでリフレインする 相手の気持ちをオウム返しに同意してみる

「でも・・・」は禁止

「Aなんです」にたいして「でもBだよ」とすると、

相手は「いややっぱりaだ」

「Aなんです」 にたいして 「それで、bだよな」 とすると
「b かもしれませんね」

* しかるときは、表面の事実・事象のみを指摘する

期待をコントロールする 言い換えると、期待のギャップを小さくすること

相手の現実的なレベルを知る

相手に期待することを明確にして周知する：キックオフミーティング

ストレッチ（少しがんばって到達できる目標）を約束させる：メンバーコミットメント

問) 価値観の壁はないか

権限のある上司の場合、モチベーションが高いと技術ではない判断が通ってしまうなど。

答) その上司の気づきが第一歩

イノベータズジレンマ：強烈な成功体験があるとなかなか変わらない

問) モチドラには、やはりお金の面はあるのではないか

海外ではどうか

答) 昇給によるモチベーションの存続効果は短くプロジェクトのやる気に結びつかない、

とされる。ただし、海外の場合や、最近の事情では変わってくることはありえる

会員から

海外のプロジェクトでは途中でパーティをやって、功労者を褒めたりプレゼントをしたり、といったモチベーション事例の紹介や F F S 理論（軍隊を組織するときのひとの適合性の理論）などを取りいれてはどうか、といった示唆も行われた。

5. 合宿 WG からのお知らせ（長久武氏）

6. ホームページ委員（小牛田尋氏）

新 H P 移行に関する説明があり、例会で承認された

7. 補正予算について（吉川博晴氏）

8. 広報委員からのお知らせ

フジサンケイビジネスアイ購読について（安藤正博氏）

以上（記載者：吉川 博晴 記）